

令和7年度野菜花き課題別研究会 開催概要

1. 課題名

ネギ・タマネギの育種・生産を取り巻く現状と今後の課題

2. 趣旨

野菜に対するニーズは多様化・高度化する一方で、野菜の生産を取り巻く情勢は厳しく、生産の維持・拡大を図るには優れた品種・魅力ある品種の開発や栽培技術の開発が必要である。そこで、本課題別研究会では、ネギ・タマネギについて育種と栽培の現状の問題点を整理し、今後の研究および技術開発の推進方向を明らかにする。

3. 主催

農研機構 野菜花き研究部門、一般社団法人日本種苗協会(共催)

4. 開催日時

令和7年10月16日(木)13:00 ～ 17日(金)12:10

5. 開催場所

津リージョンプラザ お城ホール(三重県津市西丸之内23-1)

※近鉄津新町駅から徒歩11分

6. 事務局

(研究会全般について)

野菜花き品種育成研究領域 露地野菜花き育種グループ

吹野伸子、藤戸聡史

電話：050-3533-4607 e-mail：kadaibetsu@ml.affrc.go.jp

(研究会参加申込みについて)

研究推進部 研究推進室 安濃企画連携チーム

濱田 満

電話：050-3533-4601 E-mail：kadaibetsu@ml.affrc.go.jp

(裏面につづく)

第1日目(10月16日(木) 13:00～17:20)

- 1) 13:00～13:10 開会挨拶および事務連絡
- 2) 13:10～13:40 ねぎの歴史と生理生態から異常気象に打ち勝つ対応は？
トキタ種苗(株) 吉田 昌美
- 3) 13:40～14:10 加工業務における玉葱・葱類の現状と今後の展望について
JA 全農青果センター 中川 敦雄
- 4) 14:10～14:40 タマネギのサラダやドレッシングへの加工上の問題点
ケンコーマヨネーズ(株) 西田 毅
- 5) 14:40～15:10 東北地域のタマネギ産地化に向けた取り組み
農研機構 東北農業研究センター 室 崇人
- (休憩 15:10～15:25)
- 6) 15:25～15:55 細胞遺伝学に基づくネギ類野菜の研究基盤整備とその育種利用
山口大学 執行 正義
- 7) 15:55～16:25 タマネギでのゲノムワイドな遺伝子型解析と球重選抜マーカーの開発
農研機構 野菜花き研究部門 関根 大輔
- 8) 16:25～16:55 タマネギに賭ける！種苗ベンチャーの挑戦
(株)植物育種研究所 岡本 大作
- 9) 16:55～17:15 総合討論
- 10) 17:15～17:20 事務連絡

第2日目(10月17日(金) 9:00～12:10)

- 1) 9:00～9:30 生産現場で問題になるネギの病害虫
京都府農林水産技術センター 徳丸 晋虫
- 2) 9:30～10:00 ネギハモグリバエ抵抗性品種の開発に向けて
農研機構 野菜花き研究部門 藤戸 聡史
- 3) 10:00～10:30 ネギ属から分離されるフザリウム遺伝的分化とその病原性
山口大学 佐々木 一紀
- (休憩 10:30～10:40)
- 4) 10:40～11:10 病名・病徴・農薬登録が招く難防除病害:ネギ・タマネギ腐敗性病害
農研機構 東北農業研究センター 遠 瑞枝
- 5) 11:10～11:40 タマネギ栽培におけるドローン空撮画像の利用と展望
農研機構 東北農業研究センター 日浦 聡子
- 6) 11:40～12:05 総合討論
- 7) 12:05～12:10 閉会挨拶および事務連絡

(注) 講演課題名等は変更される場合がございます。